

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5013	(H.24)No.	5013
-----------	------	-----------	------

事務事業名		国津の杜管理費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	農林資源室	西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1 農村環境整備
	小施策	4 農村ふれあい交流空間の整備
	重点施策コード	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	304001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農林水産業費		国津の杜管理費
項 農業費		(小事業名)
目 国津の杜管理費		国津の杜管理費

3. 事務事業の概要

事業概要
<p>当該施設のある国津地区は平成14年5月に新山村振興等農林漁業特別対策事業の県の認定を受けた。平成14年度に地域資源活用総合交流促進施設(はぐみ工房あららぎ)を、平成16年度には高齢者等活動・生活支援促進施設(国津ふるさと館)の整備がなされた。開設当初から地元住民が管理し、平成18年4月1日からは地元地住民組織が指定管理者として施設運営管理を行っている。</p>

めざす効果(事業目的)
<p>地域の資源として豊かな自然環境を活用し多面的な山村と都市交流の促進や高齢者の生きがいづくり・女性の能力開発を促進し、山村振興地域の活性化と発展を目指す。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
	地域の振興にむけて施設の運営管理を効果的に実施する。	地域の振興にむけて施設の運営管理を効果的に実施する。	地域の振興にむけて施設の運営管理を効果的に実施する。	地域の振興にむけて施設の運営管理を効果的に実施する。	未定
直接事業費	5,587千円	5,800千円	5,800千円	5,800千円	
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 5,587	5,800	5,800	5,800	0
人工数					
職員	0.13人	0.10人	0.10人	0.10人	
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	
概算人件費	(0千円) 966千円	747千円	747千円	747千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 6,553千円	6,547千円	6,547千円	6,547千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	施設利用者数(ふるさと館)	9,350	9,350	9,350	9,350	
	実績		3,945	3,517	4,098	3,494	
活動指標	目標	施設利用者数(あららぎ)	4,861	4,861	4,861	4,861	
	実績		1,204	1,232	841	1,109	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
今年度指定管理の選定にあたり市と指定管理者が協議を重ね、課題認識を共通のものすることができた。	課題解消に向け、昨年までの指定管理料に加え利用者増加の為の事業費を予算化し、更なる利用促進を進めながら地域活性を目指す。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
24年度から3年間の指定管理を継続した。	運営管理には様々は課題があるが、地域が問題意識をもって取り組む姿勢は評価できる。

8. 担当室による点検[事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	経常的経費の基本料見直しなどを行う
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	自然を生かした魅力ある地域づくり、出会い・交流・生活文化の拠点施設
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項